

社会福祉法人らくく

平成 26 年度 事業報告書

はじめに

理事長 鈴木純恵

法人設立から 6 年が経ち、地域にしっかり根を張り、寄りかけられる大樹になるよう努力してまいりました。利用者やご家族から得られる信頼が、法人や職員を成長させる糧となり実を結んでおります。

平成 26 年度は施設開設から 5 周年の節目を迎えました。5 周年記念行事の取り組みや新施設開設の準備、第 22 回精神障害者リハビリテーション学会発表の準備等、山ほどの課題に職員一人一人が一致協力し、山を乗り越えて結果を出したと思います。

なかでも、本年度、当施設から 30 名の方が民間の企業に就労できました。目に見えない障害をしっかりと見据え、強みを見つけ、利用者一人一人に寄り添い丁寧に支援し、また、手順書等を利用した働きやすい環境を整えることで、就労に結びついたと思われまます。

その結果、就労移行支援事業からだけでなく就労継続支援 B 型事業からも多くの就労者ができました。本年度重点計画の一つである「希望すれば誰もが働けるように就労を支援する」を実践した結果です。

その他、重点計画として、「サービス等利用計画の作成に積極的に取り組む」を挙げました。本年度からすべての障害福祉サービスの利用者にサービス等利用計画（計画相談支援）が必要になりました。相模原市全体としてサービス等利用計画を作成した利用者は、約 50%程度にとどまります。計画作成の遅れなどでサービスが受けられない状況がないように、当施設の利用者の計画相談支援を重点的に進めました。中途発症が多い精神障害者は、福祉サービスをよく知らなかったりするので、必要なサービスを利用できない方もいらっしゃいました。安心して生活するための支援を考えて、必要な福祉サービスや他の社会資源を利用できるように支援しました。同時に、職員は利用者を生活者として見る目を養うことができ、職員の質の向上につながったと思います。

I 事業概要

グループホームは法の改正によりサテライト型が併設できるようになり、民間の賃貸物件を活用し2戸増設しました。短期入所を1戸設置しました。

1) 多機能型事業施設 あみ

就労移行支援事業	定員 20 名
就労継続支援B型事業	定員 30 名
生活介護事業	定員 10 名

2) グループホーム（共同生活援助事業）

コーポさんふらわー	定員 11 名	（サテライト型 2 名含）
-----------	---------	---------------

3) 短期入所事業 定員 1 名

4) 相談支援事業

II 経営状況

施設全体の利用率が80%から86%に伸び、経営は安定しています。利用者の満足度のアップが施設運営の基本です。そのための質の高い人材の確保に努めました。

自立支援費収入推移

(円)

	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
自立支援費収入	147,822,868	114,757,913	107,616,023	89,108,914	74,971,087

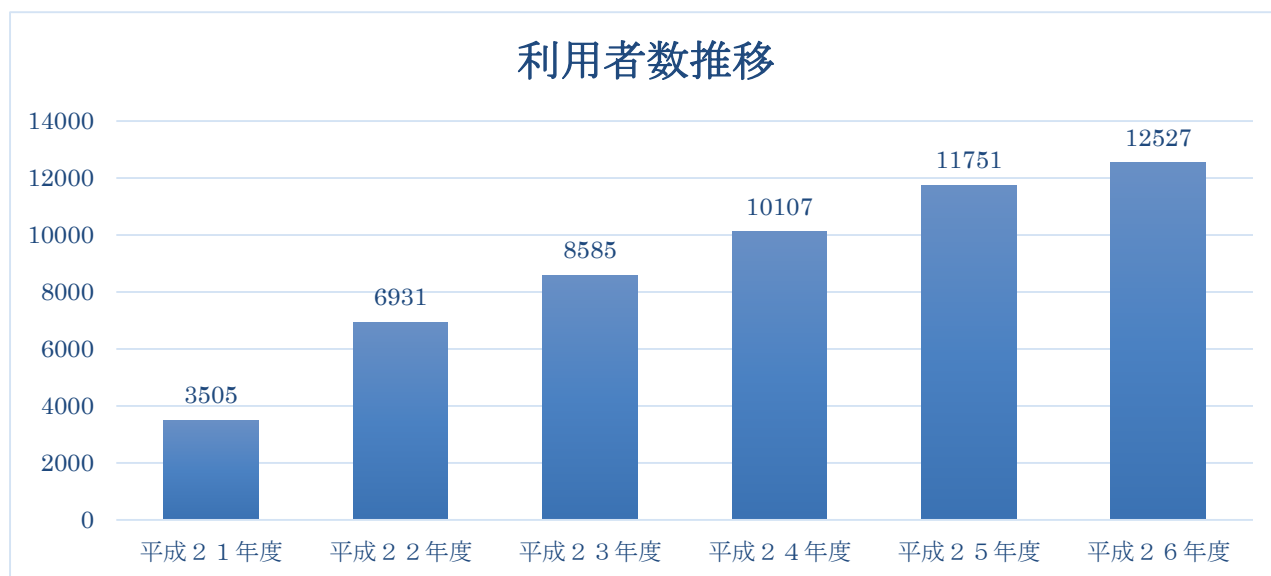
事業活動収入※ (就労会計)	162,321,472 (12,206,014)	129,980,285	123,349,924	107,964,925	89,787,042
事業活動支出※ (就労会計)	134,336,718 (11,829,805)	120,297,350	109,745,041	93,357,245	79,408,175
うち人件費支出	97,883,192	88,831,874	78,817,468	63,126,282	50,971,792
収支差額	27,984,754	9,682,935	13,604,883	14,607,680	10,378,867

※ 平成 26 年度から会計基準が変更されたことにより、「事業活動収入」及び「事業活動支出」に就労会計を含んでいます。

Ⅲ 障害福祉サービス事業の概況

1. 多機能型事業所 あみ 利用者状況

1) 多機能型事業所あみ年度別利用者数推移 (人)



2) 多機能型事業所あみ 月別利用者延べ数 (人)

施設全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	1113	1015	1060	1164	1029	1020	1076	927	983	956	1029	1155	12527
新規入所者	9	2	7	3	2	2	4	5	7	6	7	4	58
退所人数	4	8	7	2	5	3	3	3	2	3	4	8	52
利用率	88%	85%	84%	88%	82%	89%	82%	86%	86%	84%	90%	88%	86%

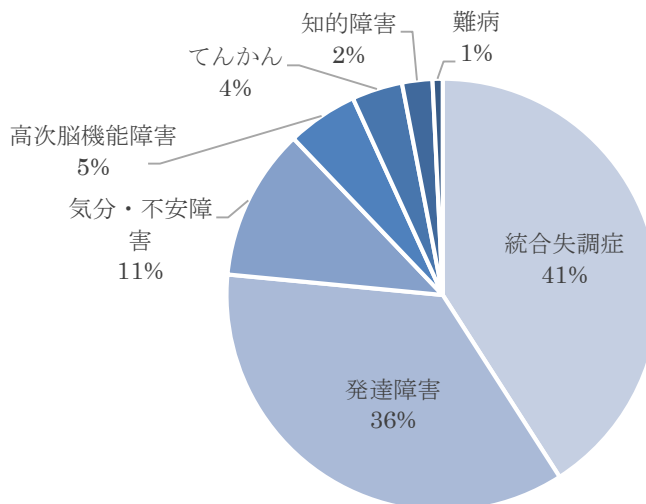
※ 利用率は、延べ利用者数 ÷ (定員 × 開所日数) にて算出

3) 支給決定市町村別利用者数

住所	利用者数
相模原市	99人
町田市	13人
座間市	10人
横浜市	3人
大和市	3人
厚木市	3人
伊勢原市	1人
合計	132人

4) 利用者病名

診断名	利用者数
統合失調症	54人
発達障害	47人
気分・不安障害	15人
高次脳機能障害	7人
てんかん	5人
知的障害	3人
難病	1人
合計	132人



IV 多機能型あみ 各事業の状況

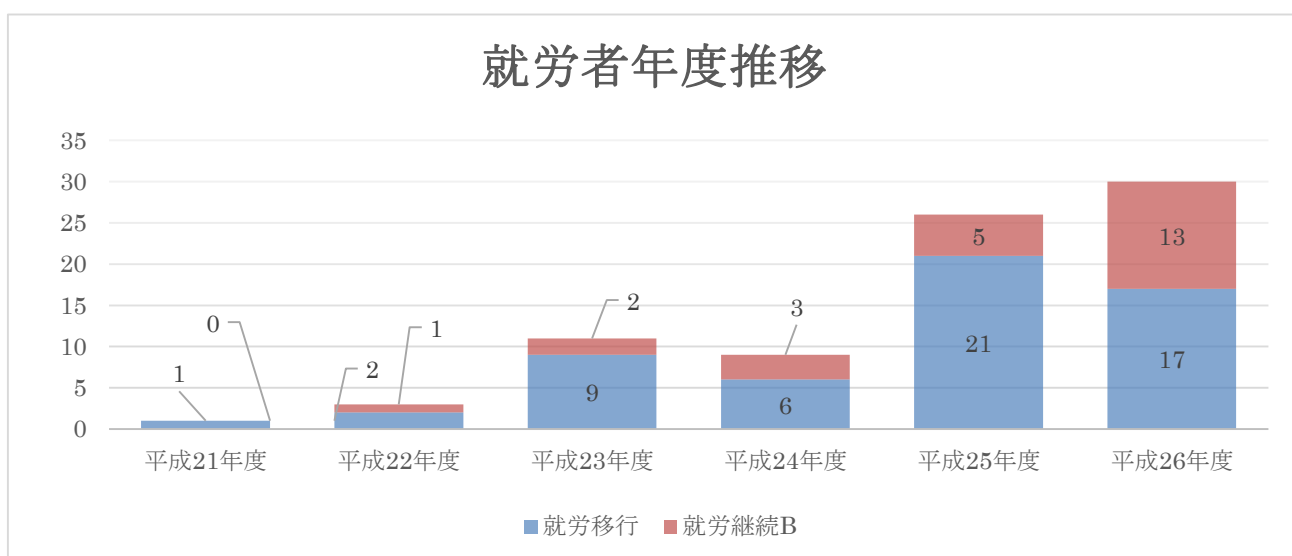
1. 就労移行支援事業 定員20人

障害特性を把握し積極的に就労支援を行った結果、17名の利用者が就労できました。引きこもりが長期に及び就労が困難と思われた利用者でも強みを見つけ、強みを活かすことで就労に結びつきました。就労後の支援体制を強化し、他機関との協力体制を強化して職場定着を図りました。

1) 就労移行支援事業 月別利用者延べ数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	448	398	400	443	363	361	340	313	324	298	316	371	4375
新規入所者	7	1	3	1	1	1	3	3	1	3	5	3	32
退所人数	2	4	5	2	2	2	2	1	0	2	1	5	28
利用率	107%	100%	95%	101%	86%	95%	77%	87%	85%	78%	83%	84%	90%

2) 年度別 就労者推移 (人)



3)業種別就労者数 (うち 就労継続事業Bからの就労者 13 人)

就労者業種別内訳

業種	利用者数
建設・採掘の職業	0 人
サービスの職業	4 人
運搬・清掃・包装等の職業	10 人
卸売業・小売業	0 人
事務的職業	5 人
生産工程の職業	6 人
専門的・技術的職業	2 人
販売の職業	3 人
輸送・機械運転の職業	0 人
合計	30 人

4) 就労移行支援事業の就労状況内訳 17 名

	利用者	市町村	就労開始年月日	退社年月	業種	診断
1	A	相模原	2014/4/1	継続中	生産工程の職業	統合失調症
2	B	相模原	2014/4/16	2014/6/30	専門的・技術的職業	パニック障害
3	C	相模原	2014/5/1	継続中	生産工程の職業	高次脳機能障害
4	D	相模原	2014/5/26	2015/1/31	事務的職業	発達障害
5	E	相模原	2014/7/31	2014/12/31	事務的職業	パニック障害
6	F	相模原	2014/8/1	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	発達障害
7	G	相模原	2014/8/2	継続中	生産工程の職業	統合失調症
8	H	相模原	2014/8/27	2014/8/30	運搬・清掃・包装等の職業	全般性不安障害
9	I	相模原	2014/10/1	継続中	専門的・技術的職業	統合失調症
10	K	相模原	2014/10/12	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
11	L	相模原	2014/10/15	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
12	M	相模原	2014/12/1	継続中	サービスの職業	発達障害

13	N	相模原	2015/1/5	継続中	事務的職業	心身症
14	O	相模原	2015/1/15	継続中	事務的職業	統合失調症
15	P	相模原	2015/2/6	継続中	輸送・機械運転の職業	高次脳機能障害
16	Q	相模原	2015/2/18	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	自閉症
17	R	相模原	2015/2/26	継続中	輸送・機械運転の職業	全般性不安障害

2. 就労継続支援B型事業 定員30人

障害特性に合ったきめ細かな支援を行い、また利用者の働きたいという気持ちに応え、就労に必要な知識及び能力の向上のための支援を行いました。結果13名の方が就労できました。

1) 就労継続支援B型事業 月別利用者延べ人数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	524	483	516	561	513	533	567	456	501	508	559	621	6342
新規入所者	2	1	4	1	0	1	1	2	6	3	2	1	24
退所人数	1	4	2	0	2	1	1	2	2	1	3	3	22
利用率	83%	81%	82%	85%	81%	94%	86%	84%	88%	89%	98%	94%	87%

2) 就労継続支援B型事業の就労状況内訳 13名

	利用者	市町村	就労開始年月日	退社年月	業種	診断
1	A	相模原	2014/4/1	2014/11/7	事務的職業	統合失調症
2	B	相模原	2014/4/21	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	発達障害
3	C	座間	2014/5/7	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
4	D	相模原	2014/5/7	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
5	E	町田	2014/5/26	2014/8/31	サービスの職業	不安障害
6	F	相模原	2014/6/2	2014/8/13	生産工程の職業	高次脳機能障害
7	G	相模原	2014/6/9	2015/3/31	運搬・清掃・包装等の職業	発達障害
8	H	相模原	2014/7/1	2014/8/31	サービスの職業	統合失調症

9	I	相模原	2014/10/9	継続中	輸送・機械運転の職業	統合失調症
10	J	相模原	2014/10/12	継続中	生産工程の職業	発達障害
11	K	町田市	2014/11/4	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
12	L	相模原	2014/11/28	継続中	サービスの職業	統合失調症
13	M	相模原	2014/12/1	2015/3/18	生産工程の職業	統合失調症

3. 生活介護事業 定員10人

その日の調子に合わせて無理のない活動を行いました。本年度は大きな事故もなく過ごせました。

生活介護事業 月別利用者延べ人数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	141	134	144	160	153	126	169	158	158	150	154	163	1810
新規入所者	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
退所人数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
利用率	67%	67%	69%	73%	73%	66%	77%	88%	83%	79%	81%	74%	75%

V 共同生活援助事業・短期入所

本年度7月から、共同生活援助事業所にサテライト型住居2戸を増設し、また短期入所事業所1戸をコーポさんふらわー内に新たに設けました。

1. コーポさんふらわー 定員11名 (サテライト型2名を含)

月1回、定例ミーティングを行い、利用者の自立のために生活上のルール等の取り決め及び改善を行いました。前年よりご自分で身の回りのことができるようになっていきます。

1) 共同生活援助事業 月別利用者延人数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス提供日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
障害支援区分非該当又は区分1の総延べ利用者数	30	31	80	93	93	90	93	90	93	89	56	62	900
区分2の総延べ利用者数	90	93	110	123	124	120	124	120	110	112	112	121	1359
区分3の総延べ利用者数	42	36	41	41	37	39	44	35	35	32	20	22	424
区分4の総延べ利用者数	56	59	55	58	56	57	59	52	53	51	52	55	663
区分5の総延べ利用者数	4												4
全利用者数	222	219	286	315	310	306	320	297	291	284	240	260	3350
利用率(%)	74. ⁰	70. ⁶	95. ³	92. ⁴	90. ⁹	92. ⁷	93. ⁸	90. ⁰	85. ³	83. ³	77. ⁹	76. ²	85. ²

2) 入退去の状況

	人数	内訳
退居者	2	自立(1) 病状悪化(1)
入居者	3	家族関係調整・自立生活のための訓練

3) 年間・月間・週間行事計画と実践

	月	行事
年間行事	7月	さがみ緑風園夏祭りへの参加
	8月	自治会夏祭りへの参加
	8月	さんふらわー納涼祭
	11月	日帰り旅行(薬師池公園)
	12月	クリスマス会
月間行事	お楽しみ食事会(第3木曜日・夕食)	
隔月間行事	健康講座「めぞそう、健康生活!!」 (隔月第4火曜日)	

週間行事	お楽しみ会（カラオケ等 水曜日夕食後） 12月24日(水)は、クリスマスパーティを開催
	ヨガ教室（木曜日 16:30～17:00）
定期	防災訓練 年2回実施

2. 短期入所利用状況及び利用目的 1戸

利用希望者が多く、全ての希望者の期待には応じられませんでした。

利用状況及び利用目的

(利用者6人)

利用者	利用件数	利用目的
A	定期利用	家族関係調整・自立
B	定期利用	家族関係調整・自立
C	定期利用	休養
D	1回	家族関係調整
E	1回	家族関係調整
F	1回	家族関係調整

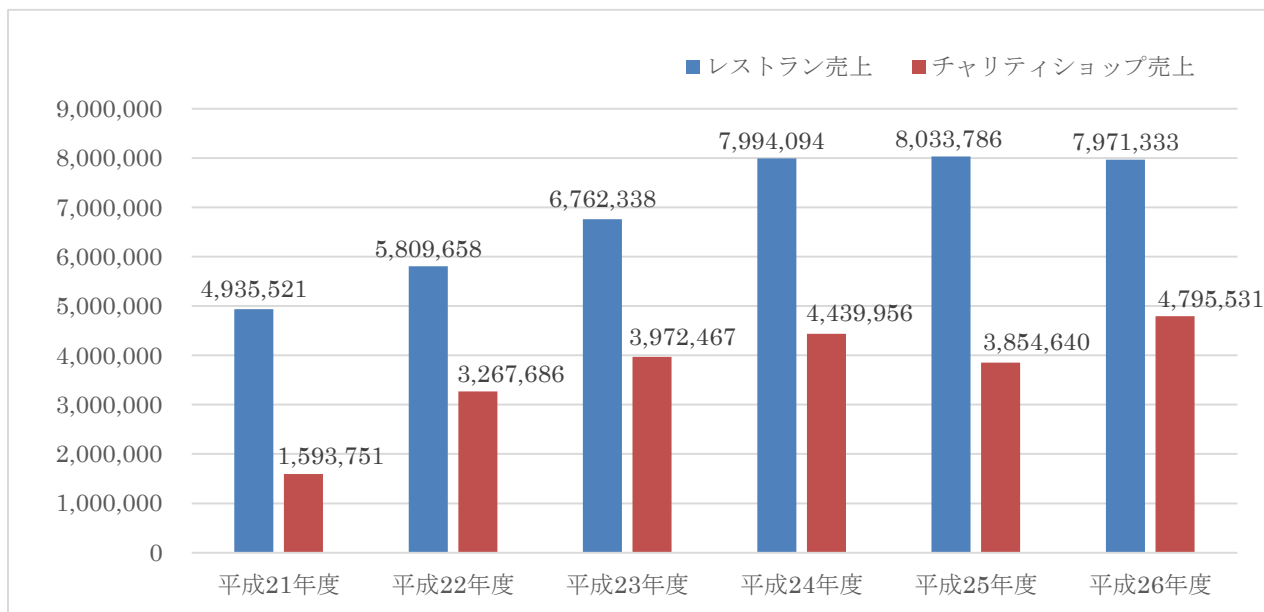
VI 就労事業報告

1. 就労収入

レストラン（キッチン・フローア）は民間の会社に就労する方が多く、利用者の入れ替わりも多いですが、売り上げは昨年度とほぼ同じに保っています。

チャリティショップは、年度単位では過去最高の売上額を達成しています。客数の増加に伴い寄付件数も2,500件を超え、月平均でも200件以上となっています。本年度はセール等の販売促進企画が定着し、毎日多くのお客さまに賑わっていました。

1) レストラン・チャリティショップ年度別売り上推移 (円)



2) 寄付件数 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
25年度	183	198	161	181	132	124	187	188	168	161	97	152	1932	161
26年度	226	118	200	194	134	213	268	230	258	232	201	236	2510	209
	123%	60%	124%	107%	102%	172%	143%	122%	154%	144%	207%	155%	130%	130%

2. 工賃

セールが定着して顧客を確保でき、売上げが伸びたことで工賃はアップしています。時給 200 円をお支払できた月もありました。

1) 月別工賃支払い状況 (円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 / 平均
総支給額	施設全体	530,834	473,896	492,942	557,786	389,820	481,252	497,408	519,642	617,126	443,148	586,950	752,302	6,345,106
	就労移行	244,244	220,410	229,038	260,741	168,409	207,450	192,714	236,001	258,334	167,882	214,944	276,349	2,676,516
	就労継続	246,586	210,098	218,253	239,667	184,187	233,590	252,174	223,777	288,975	220,294	303,953	391,896	3,013,450
	生活介護	40,004	43,388	45,651	57,378	37,224	40,212	52,520	59,864	69,817	54,972	68,053	86,057	655,140
時給	施設全体	153	153	153	152	123	153	163	184	202	163	184	203	166
	就労移行	153	153	153	152	123	154	163	185	200	164	184	206	166
	就労継続	152	151	152	151	121	152	162	182	202	161	182	202	164
	生活介護	151	151	151	150	121	151	161	181	201	162	182	203	164

2) 年度別工賃支払い状況

(円)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
工賃支給額総額	2,844,893	4,528,645	4,872,011	6,113,950	5,453,366	6,345,106
平均時給			171	179	152	166
利用者総労働時間			28489	34327	35814	38303

VI 職員研修計画

教育の3本柱として「法人職員としての心構えや、接遇」が共通の土台としてあり、「相談支援・コーチング・介護等の知識」の力を伸ばす教育、この他「訓練環境を整え利用者の力を引き出すスキルを獲得する」を柱としています。

利用者支援の取り組みについて、昨年度に引き続き、精神障害者リハビリテーション学会に『「仕事ができない・指示が伝わらないのは支援者側の問題」への取り組み～作業現場の構造化による支援の実際～』について発表しました。

職員研修状況

月日	内容	参加者
6月19日	虐待について	2人
7月10.11日	神奈川県相談支援従事者初任者研修	2人
7月10.11日	神奈川県サービス管理者補足研修	1人
7月14日	「精神障害者の雇用は難しくない」 精神保健センター、ともに会 パネルディスカッション	1人
7月31日	発達障害の理解 「誰もが生き生き伸び伸び暮すには」	2人
10月29日	「見つけよう地域課題－相模原市の相談支援展開のために－」 相模原市自立支援協議会	1人
10月29.30.31日	神奈川県相談支援従事者初任者研修	1人
10月31日～	第22回 日本精神障害者リハビリテーション学会 「仕事ができない・指示が伝わらないのは支援者側の問題」への 取り組み ～作業現場の構造化による支援の実際～	3人
11月7日	「相談支援キーセッション合同グループスーパービジョン」 講師：小澤 温 筑波大学大学院教授	1人
11月19日	神奈川県サービス管理責任者研修（共通講義）	2人
12月18.19日	神奈川県サービス管理者研修（分野別）	2人
2月6日	発達障害のある人への就労支援とネットワーク	1人

2月19.20日	神奈川県相談支援従事者初任者研修	1人
3月6日	「相談支援キーテーション合同グループスーパービジョン」	1人

VII 他機関との連携・研修・見学者

就労支援では、仕事探しやジョブコーチ等他機関と協力して行いました。また利用者の受入時また対応が困難時に協力して支援を行いました。

1) 連携状況等

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入所相談	3	3	3	3	10	9	4	7	4	4	0	10	60	5
他機関との連携	7	15	18	14	5	5	9	6	8	6	12	7	112	9
体験	14	9	2	1	4	2	5	7	3	7	5	7	66	6

2) 研修・見学者

月日	内容	対象者	人数
5月7日	北里大学医学部早期体験学習における施設実習	医学部学生	1人
6月2日	東京福祉大学	学生	1人
6月3日	精神保健福祉基礎研修	市職員	10人
6月11日	北里大学医学部早期体験学習における施設実習	医学部学生	1人
7月15日～	東京福祉大学	学生	1人
8月5日	障害者職業センター カウンセラー補	職員	1人
10月9日	東京都市大学 建築学科	学生	1人
10月14～31日	北里大学看護学部 精神看護総合実習	看護学生	2人
2月25日	東京福祉大学	学生	1人
3月3日	ハローワーク 就労支援施設見学会	関連機関職員	26人

VIII 相談支援事業

平成 26 年度は本格的に計画作成業務を開始することになり、らくく利用希望者及び現利用者の受給者証更新に合わせて順次サービス等利用計画の作成を行ないました。

計画作成過程での個別面談によるアセスメント、あるいはモニタリングにおいて生活上の困りごとを聞き取りながら、その課題解決のための情報提供や必要な障害福祉サービスの支給決定の支援をしつつ、必要な社会資源の利用につなげました。平成 26 年度における事業実績は以下のとおりです。

事業実績

新規・更新計画作成件数	モニタリング回数	他の社会資源につなげた件数
121 件	242 回	35 件

従来らくくで提供してきた就労支援以外の部分での生活課題、特に家族間の課題や暮らしの場について、他の社会資源につなげていくことが多くみられました。その支援過程で情報提供や他の機関との連携によって解決していく場面が多く、より広い情報収集力と支援者間のネットワークが効果的な結果を生み出したと実感しました。